



日本共産党杉並区議会議員

週刊

こんにちは

こうへい
山田耕平
です

2023.2.16 No.470

このニュースへのご感想
ご意見をお寄せください！

杉並区善福寺2-2-11

TEL 090-9973-0941

ホームページ

<http://yamadakohei.jp>

右QRコードを
ご活用下さい



杉並区議会第1回定例会 2月9日より開会

深刻な物価高騰 暮らし・事業の支援強化を

給食費無償化については、憲法の「義務教育はこれを無償とする」の原則、物価高騰の深刻な事態、さらに区部で8区が来年度から実施に踏み出すことを紹介し、給食費無償化の来年度実施を求めました。

**給食費
無償化**

**スピード感を持って
検討し結論を出す**



代表質問への答弁に
立つ岸本区長。

区長は影響を見
極めた上で年度途
中であっても「補正
予算対応を含めて
しっかりと対応」と
答弁しました。

党区議団は、岸本区政での前進面をさらに前に進めつつ、諸課題への改善を提案します。各会派代表質問では富田議員が代表質問に立ち、深刻な物価高騰と区民の実態を紹介、暮らしと事業を支援する緊急対策、給食費無償化等を区に求めました。物価対策については「あらゆる手立てを総動員した努力が求められる」と指摘し、他区の暮らしや事業者への支援例を紹介。区長の決意と対応を求めました。

**暮らし
事業支援**

**年度途中でも
補正予算含め対応**

2月9日から杉並区議会第一回定例会が開会しました。今定例会では、岸本区政下で初となる来年度予算案が提案され、予算特別委員会において審議が行なわれます。

無償化を求め続けてきた党杉並区議団 給食費軽減条例も提案

代表質問では、他会派も無償化について質問しましたが、杉並区議会で一貫して無償化を求め続けてきたのは、政党では日本共産党だけです。

さらに党区議団は、議案提案権を行使し、学校給食の負担軽減条例も提出しました。この条例案は、党区議団以外には、すぎなみわくわく会議のみが賛成し、自民・公明・立民などの会派は反対しました。

無償化を求めた質問・条例提案（抜粋）

- 2017年第1回定例会 一般質問
- 2018年第3回定例会 一般質問
- 2019年第1回定例会 条例提案
- 2022年第4回定例会 一般質問

区長は、クリアする課題はあるが「スピード感をもって検討を進め、結論を出したい」と実施に向けての決意を表明しました。引き続き、速やかな給食費無償化を実現するために論戦に臨みます。

**給食費無償化
来年度実施区（8区）**
葛飾 台東 北品川
中央 足立 荒川
世田谷

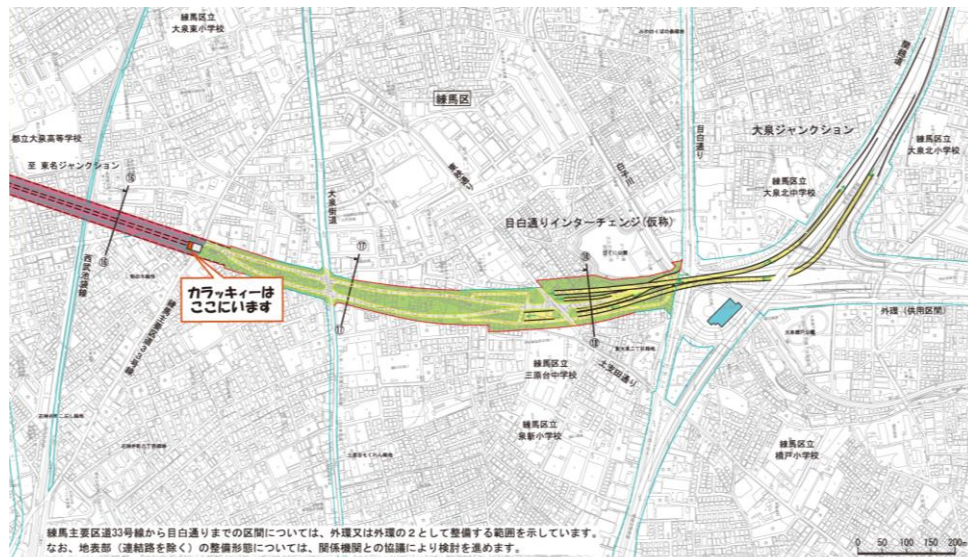


条例提案時に策定した周知チラシ

調布市の陥没事故の影響で東名側は掘進再開せず

外環道工事 練馬区間で民地に掘進開始…

民地への進出は進捗情報のマップにだけ提示。



2月3日より、練馬区の民地に掘進開始
民地進出に関する公表告知も無く強行
東京外郭環状道路（外環道）のトンネル工事は調布市住宅街での陥没や空洞が発生した事故により、工事が停止していましたが、練馬区間では工事を再開し、2月3日にはシールドマシンが民地に進出しました。進出に関する公表や告知などの住民への情報提供は一切ありません。
調布市の事故現場では、今春から現場周辺で実施する大規模な地盤補修工事に向け、家屋の解体作業に着手しました。

**見通しが無い
にも関わらず…**

調布市の事故を受け、東京地裁は「工事中止の仮処分決定」をしています。練馬区側で工事を強行したとしても、現状では繋がる見通しはありません。調布市での工事再開の目途が立っていないのにも関わらず、工事を強行することは許されません。
杉並区間は練馬区側のシールドマシンが掘進します。これ以上、掘進を進めることの無いよう、強く求めます。

なんでもご相談ください！

税金や国保、年金など、区政・生活についてのご相談をお受けしています。
家族や友人に言えないことでも、お気軽にご相談ください。

山田携帯：090-9973-0941

今週の一コマ

全都演説会 4秒タイム

2月11日、日本共産党の全都演説会が行なわれ、私も予定候補者の一人として参加しました。オンライン演説会だったため、予定候補者の紹介テロップと本人を合わせるのに一苦労（苦笑）。アピールタイムは4秒で、この4秒のために開催3時間前に全都の予定候補が集合…。200人近くが集合した光景は圧巻でした。私も頑張ります。



女性比率が高いのが日本共産党の強みです。

外環道 調布市の事故現場

話し合い抜きで家屋解体強行

外環道地下トンネル工事により、地表陥没・地下空洞が発生した調布市で、国と事業者は「地盤を強化するため」としてトンネル直上の住宅の解体工事を始めました。

近隣住民がつくる「外環被害住民連絡会・調布」は「住民と話し合う約束もほごにして工事を進めるのは、不誠実極まりない」として抗議声明を発表しました。

工事による地表面陥没と地下空洞の発生により、住民生活は深刻な影響を受けています。事業者の過失による事故に対し、住民に立ち退きを迫り工事を強行する国・事業者の責任は重大です。

東京地裁の仮処分決定で、本線の全開通が見通せない中、国と事業者が住民の声に誠実に対応しないことは許されません。全ての工事の停止を求めます。



陥没が発生した当日に埋め戻す作業中（上）山田撮影。
家屋解体に抗議する住民（右）しんぶん赤旗より。

